

2026年度 診療アウトカム評価事業 指標一覧

No.	指標名	データソース	集計単位	備考	指標定義		
					分子	分母	単位
1	平均在院日数（疾患名別）	DPC	四半期、年間	期間中に退院した患者の在院日数の平均です。 本調査の対象となる24疾患（※）について、疾患別全体、重症度別、年代別、性別の計4種類（2011年度以前は、疾患別全体、重症度別、年代別、性別、入院経路別の5種類）を集計しています。	期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別）	日
2	平均在院日数（疾患名別・重症度別）	DPC		※本調査の対象となる24疾患 胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、直腸の悪性新生物、気管支および肺の悪性新生物、急性心筋梗塞、肺炎、喘息、脳梗塞、脳出血、糖尿病、大腿骨頭部骨折、胃潰瘍、急性腸炎、急性虫垂炎、胆石症、前立腺肥大症、白内障、痔核、子宮筋腫、狭心症、腎結石及び尿管結石、乳房の悪性新生物、膝関節症、鼠径ヘルニア	期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、重症度別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別、重症度別）	日
3	平均在院日数（疾患名別・年代別）	DPC			期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、年代別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別、年代別）	日
4	平均在院日数（疾患名別・性別）	DPC			期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、性別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別、性別）	日
5	死亡率（疾患名別・重症度別）	DPC	四半期、年間	期間中に退院した患者の在院日数の平均です。 本調査の対象となる24疾患（※）について、疾患別全体、重症度別、年代別、性別の計4種類（2011年度以前は、疾患別全体、重症度別、年代別、性別、入院経路別の5種類）を集計しています。	期間中に死亡した患者の人数（疾患別、重症度別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別、重症度別）	％
6	死亡率（疾患名別・年代別）	DPC			期間中に死亡した患者の人数（疾患別、年代別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別、年代別）	％
7	死亡率（疾患名別・性別）	DPC			期間中に死亡した患者の人数（疾患別、性別）	期間中に退院した患者の人数（疾患別、性別）	％
8	予定しない再入院率（30日以内再入院）（疾患名別）	DPC	四半期、年間	※本調査の対象となる24疾患（※）について、期間中に退院した患者人数に対する、予定しない再入院であった退院患者人数の割合です。 ※予定しない再入院：同一の疾患で退院後、それぞれの期間内に予期せずに再度入院する場合をいいます。	前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数（疾患別）	退院患者数	％
9	予定しない再入院率（30日以内再入院）（疾患名別・重症度別）	DPC			前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数（疾患別、重症度別）	退院患者数	％
10	予定しない再入院率（30日以内再入院）（疾患名別・年代別）	DPC			前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数（疾患別、年代別）	退院患者数	％
11	予定しない再入院率（30日以内再入院）（疾患名別・性別）	DPC			前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数（疾患別、性別）	退院患者数	％
12	医療費（重症度別）	DPC	四半期、年間	※期間中に退院した患者の本調査の対象である24疾患（※）別の入院医療費の平均です。 ① 1入院費用、② 1日単価	① 1入院費用： 期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、重症度別） ② 1日単価： 期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、重症度別）	① 1入院費用： 期間中に退院した症例数（疾患別、重症度別） ② 1日単価： 期間中に退院した症例の在院日数の合計（疾患別、重症度別）	円
13	医療費（年代別）	DPC			① 1入院費用： 期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、年代別） ② 1日単価： 期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、年代別）	① 1入院費用： 期間中に退院した症例数（疾患別、年代別） ② 1日単価： 期間中に退院した症例の在院日数の合計（疾患別、年代別）	円
14	医療費（性別）	DPC			① 1入院費用： 期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、性別） ② 1日単価： 期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、性別）	① 1入院費用： 期間中に退院した症例数（疾患別、性別） ② 1日単価： 期間中に退院した症例の在院日数の合計（疾患別、性別）	円
15	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数 のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者を集計しています。	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数 ※除外条件 入院時年齢が 15 歳未満の患者を除外する。	％
16	手術ありの患者の肺血栓塞栓症（肺血栓塞栓症の発生率）	DPC	四半期、年間	期間中に肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例につき、肺血栓塞栓症を発症した症例の割合を集計しています。	肺血栓塞栓症を発症した患者数	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の 手術を施行した退院症例数	％
17	褥瘡の持込率	DPC	四半期、年間	期間中の退院症例につき、入院時に褥瘡のある症例割合を、年代別に集計しています。	入院時に褥瘡のある患者数	退院患者数	％
18	d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	期間中の入院患者に発生した褥瘡（d2(真皮までの損傷)以上）の発生割合を、年代別に集計しています。	①データソースがDPC（様式1）の場合： 褥瘡（d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡）の発生患者数 ②データソースがDPC（様式3）の場合： 褥瘡（d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡）の発生患者数	①データソースがDPC（様式1）の場合： 退院患者の在院日数の総和 ※除外条件 ① 日帰り入院、同日入退院の患者 ② 入院時既に褥瘡（ d1, d2, D3, D4, D5, DT1, U ）のいずれかの褥瘡保有が記録されていた患者 ②データソースがDPC（様式3）の場合： 除外条件に該当する患者を除いた入院患者延べ数 ※除外条件 ① 日帰り入院、同日入退院の患者 ② 入院時刻から 24 時間以内に発生した褥瘡 d1, d2, D3, D4, D5, DT1, U を持つ患者 ③ 入院時 既に褥瘡（d1, d2, D3, D4, D5, DT1, U）のいずれかの褥瘡保有が記録されていた患者 ④ 調査対象期間（2024年5月31日以前も含む）より前に褥瘡 d1, d2, D3, D4, D5, DT1, U の院内発生が確認され、継続して入院している患者	％

No.	指標名	データ ソース	集計単位	備考	指標定義		
					分子	分母	単位
19	65歳以上の患者における認知症の保有率	DPC	四半期、 年間	期間中に退院した65歳以上の症例に対し、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準を用いた認知症の症例割合を、入院経路別（自宅、施設、他病院など（院内転棟・院内出生除く））に集計しています。	65歳以上で認知症のある患者数	65歳以上の退院患者数	％
20	急性心筋梗塞における主要手術・治療実施率（重症度別）	DPC	四半期、 年間	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が急性心筋梗塞で退院した症例のうち、主要な手術及び治療を受けた症例割合を、重症度別、年代別、性別、術式別に集計しています。	主要な手術及び治療を受けた症例数（重症度別）	医療資源を最も投入した傷病名が急性心筋梗塞に該当する退院症例数（重症度別）	％
21	急性心筋梗塞における主要手術・治療実施率（年代別）	DPC			主要な手術及び治療を受けた症例数（年代別）	医療資源を最も投入した傷病名が急性心筋梗塞に該当する退院症例数（年代別）	％
22	急性心筋梗塞における主要手術・治療実施率（性別）	DPC			主要な手術及び治療を受けた症例数（性別）	医療資源を最も投入した傷病名が急性心筋梗塞に該当する退院症例数（性別）	％
23	急性心筋梗塞における主要手術・治療実施率（術式別）	DPC			主要な手術及び治療を受けた症例数（術式別）	医療資源を最も投入した傷病名が急性心筋梗塞に該当する退院症例数（術式別）	％
24	肺炎に対する入院当日の抗生物質使用率（重症度別）	DPC	四半期、 年間	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が肺炎で退院した症例のうち、入院当日に抗生物質の投与を受けた症例割合です。重症度別に集計しています。	入院当日に抗生物質の投与を受けた症例数（重症度別）	医療資源を最も投入した傷病名が肺炎に該当する退院症例数（重症度別）	％
25	出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が胃潰瘍あるいは十二指腸潰瘍で、急性、出血を伴うものに該当する症例のうち、内視鏡的消化管止血術が施行された症例の割合を集計しています。	内視鏡的消化管止血術が施行された患者数	医療資源を最も投入した傷病名が胃潰瘍あるいは十二指腸潰瘍で、急性、出血を伴うものに該当する退院患者数	％
26	急性脳梗塞患者リハビリテーション開始率	DPC	四半期、 年間	期間中18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例のうち、入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた症例の割合です。	入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数	18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数	％
27	胃がんの患者に対するESDの施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に胃がん(ステージⅠA)で胃がん手術が施行された症例のうち、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が施行された症例の割合を集計しています。	内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が施行された患者数	胃がん(ステージⅠA)で胃がん手術が施行された退院患者数	％
28	胆嚢切除術患者に対する腹腔鏡下手術施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に胆嚢疾患で胆嚢摘出術が施行された症例のうち、腹腔鏡下手術が施行された症例の割合を集計しています。	腹腔鏡下手術が施行された患者数	胆嚢疾患で胆嚢摘出術が施行された退院患者数	％
29	虫垂炎の患者に対する手術施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が虫垂炎に該当する症例のうち、虫垂切除術が施行された症例の割合を集計しています。	虫垂切除術が施行された患者数	医療資源を最も投入した傷病名が虫垂炎に該当する退院患者数	％
30	虫垂切除術患者に対する腹腔鏡下手術施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が虫垂炎で虫垂切除術を施行された症例のうち、腹腔鏡下手術が施行された症例の割合を集計しています。	腹腔鏡下手術が施行された患者数	医療資源を最も投入した傷病名が虫垂炎で虫垂切除術を施行された退院患者数	％
31	帝王切開における全身麻酔施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に帝王切開手術を施行された症例のうち、全身麻酔を施行された症例の割合を集計しています。	全身麻酔を施行された患者数	帝王切開手術を施行された退院患者数	％
32	帝王切開における輸血施行率	DPC	四半期、 年間	期間中に帝王切開手術を施行された症例のうち、術日から術翌日までに輸血（赤血球または全血輸血）が施行された症例の割合を集計しています。	術日から術翌日までに輸血（赤血球または全血輸血）が施行された患者数	帝王切開手術を施行された退院患者数	％
33	脳卒中地域連携パスの使用率	DPC	四半期、 年間	期間中に脳卒中で入院した症例のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した割合です。	「地域連携診療計画加算」を算定した患者数	脳卒中で入院した患者数	％
34	脳卒中地域連携パスの使用率（転院先）	DPC	四半期、 年間	期間中に脳卒中が医療資源を最も投入した傷病名である症例のうち、地域連携診療計画退院時指導料（１）が算定された症例の割合を集計しています。	地域連携診療計画退院時指導料（１）が算定された患者数	脳卒中が医療資源を最も投入した傷病名である退院患者数	％

No.	指標名	データ ソース	集計単位	備考	指標定義		
					分子	分母	単位
35	大腿骨地域連携パスの使用率	DPC	四半期、 年間	期間中に大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した割合です。	「地域連携診療計画加算」を算定した患者数	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数	%
36	大腿骨頸部骨折連携パスの使用率(転院先)	DPC	四半期、 年間	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が大腿骨頸部骨折で退院した症例のうち、地域連携診療計画退院時指導料（１）が算定された症例の割合を集計しています。	地域連携診療計画退院時指導料（１）が算定された患者数	大腿骨頸部骨折が医療資源を最も投入した傷病名である退院患者数	%
37	急性期病棟における退院調整の実施率	DPC	四半期、 年間	期間中に退院した65歳以上の症例（退院時転帰が死亡であった症例を除く）のうち、退院調整加算（一般病棟入院基本料等）が算定された症例割合を集計しています。	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）が算定された症例数	65歳以上の退院症例数（退院時転帰が死亡であった症例を除く）	%
38	介護施設・福祉施設からの入院率	DPC	四半期、 年間	期間中の退院症例のうち、介護施設・福祉施設からの入院症例割合を、年代別に集計しています。	介護施設・福祉施設からの入院患者数	全退院患者数	%
39	他の病院・診療所の病棟からの転院率	DPC	四半期、 年間	期間中の退院症例のうち、他の病院・診療所の病棟からの転院症例割合を、年代別に集計しています。	他の病院・診療所の病棟からの転院患者数	全退院患者数	%
40	介護施設・福祉施設等への退院率(年代別)	DPC	四半期、 年間	介護施設・福祉施設等への退院率（年代別/退院先別）期間中の退院症例のうち、「介護老人保健施設」、「介護老人福祉施設」、「社会福祉施設、有料老人ホーム等」への退院症例割合を、年代別に集計しています。	介護施設・福祉施設への退院患者数	全退院患者数	%
41	介護施設・福祉施設等への退院率(退院先)	DPC	四半期、 年間	介護施設・福祉施設等への退院率（年代別/退院先別）期間中の退院症例のうち、「介護老人保健施設」、「介護老人福祉施設」、「社会福祉施設、有料老人ホーム等」への退院症例割合を、年代別に集計しています。	介護施設・福祉施設への退院患者数	全退院患者数	%
42	他の病院・診療所の病棟への転院率	DPC	四半期、 年間	期間中の退院症例のうち、他の病院・診療所の病棟への転院症例割合を、年代別に集計しています。	他の病院・診療所の病棟への転院患者数	全退院患者数	%
43	自宅退院患者における在宅医療を受ける率	DPC		期間中の自宅への退院症例のうち、退院後に在宅医療を受ける症例割合を、年代別に集計しています。	退院後に在宅医療を受ける患者数	自宅への退院患者数	%
44	中心静脈カテーテル挿入時の気胸発生率	DPC	四半期、 年間	期間中に中心静脈カテーテルが挿入された退院症例につき、入院後医原性気胸が発生した症例の割合を集計しています。	入院後医原性気胸が発生した患者数	中心静脈カテーテルが挿入された患者数	%
45	急性心筋梗塞患者におけるアスピリン早期投与	DPC	四半期、 年間	期間中に急性心筋梗塞で入院した症例に対する、入院後早期（2日以内）にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例の割合です。	入院後早期（2日以内）にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された患者数	急性心筋梗塞の診断で入院した患者数	%
46	急性心筋梗塞患者におけるアスピリン退院時投与	DPC	四半期、 年間	期間中に急性心筋梗塞で入院した症例に対する、退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例の割合です。	退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された患者数	急性心筋梗塞の診断で入院した患者数	%
47	Door-to-Balloon実施率	DPC	四半期、 年間	期間中18歳以上の急性心筋梗塞でPCIを受けた症例のうち、来院後90分以内に手技を受けた症例の割合です。	来院後90分以内に手技を受けた患者数	18歳以上の急性心筋梗塞でPCIを受けた患者数	%
48	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	DPC	四半期、 年間	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	「D299喉頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数	誤嚥性肺炎患者数	%
49	術後24時間以内の予防的抗菌薬の停止率	DPC	四半期、 年間	期間中に股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術が行われた症例のうち、手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない症例の割合です。	手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数	入院手術件数（股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術）	%
50	術後48時間以内の予防的抗菌薬の停止率	DPC	四半期、 年間	期間中に冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術が行われた症例のうち、術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない症例の割合です。	術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数	入院手術件数（冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術）	%

No.	指標名	データソース	集計単位	備考	指標定義		
					分子	分母	単位
51	服薬指導（安全管理が必要な薬剤の服薬指導実施率）	DPC	四半期、年間	期間中に安全管理が必要な医薬品のいずれかが投薬または注射されている症例のうち、「薬剤管理指導料2※」が算定された症例の割合です。	「薬剤管理指導料2 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合（1に該当する場合を除く）」が算定された患者数	安全管理が必要な医薬品のいずれかが投薬または注射されている患者数	%
52	服薬指導（薬剤管理指導実施率）	DPC	四半期、年間	期間中の退院患者のうち、薬剤管理指導を受けた患者の割合です。	薬剤管理指導を受けた患者数	退院患者数	%
53	栄養指導	DPC	四半期、年間	期間中の18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数に対する、特別食加算の算定回数の割合です。	特別食加算の算定回数	18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数	%
54	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数の割合です。	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数	広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数	%
55	血液培養2セット実施率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	血液培養オーダー日数のうち、血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数の割合です。 <u>※本指標は、令和6年度診療報酬改定においてデータを提出・公表することにより機能評価係数Ⅱで評価されることになった医療の質指標の1つです。診療報酬上では入院EFファイルおよび外来EFファイルの2つで算出されますが、本事業では入院EFファイルのみで算出しているため、診療報酬上の公表値と本事業の集計値は一致しない場合があります。また、本指標の値をそのまま公表しても機能評価係数Ⅱとして評価されませんのでご注意ください。</u>	血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数	血液培養オーダー日数	%
56	65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	65歳以上の退院患者数のうち、入院後48時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数の割合です。	分母のうち、入院後48時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数	65歳以上の退院患者数	%
57	身体的拘束の実施率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	退院患者の在院日数の総和のうち、身体的拘束日数の総和の割合です。 ※身体的拘束とは、抑制帯等、患者の身体又は衣服に触れる何らかの用具を使用して、一時的に当該患者の身体を拘束し、その運動を抑制する行動の制限を指す。 Q：身体的拘束は具体的にどのような行為か。 A：身体的拘束は、抑制帯等、患者の身体又は衣服に触れる何らかの用具を使用して、一時的に当該患者の身体を拘束し、その運動を抑制する行動の制限であり、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る等はすべて該当する。ただし、移動時等に、安全確保のために短時間固定ベルト等を使用する場合については 使用している間、常に、職員が介助等のため、当該患者の側に付き添っている。	分母のうち、身体的拘束日数の総和	退院患者の在院日数の総和	%
58	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数の割合です。	分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数	全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数	%
59	転倒・転落発生率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	期間中の入院患者に発生した転倒・転落の発生割合です。	①データソースがDPC（様式1）の場合： 退院患者に発生した転倒・転落件数 ②データソースがDPC（様式3）の場合： 転倒・転落の発生件数	①データソースがDPC（様式1）の場合： 退院患者の在院日数の総和 ②データソースがDPC（様式3）の場合： 入院患者延べ数	% (パーミル)
60	転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率 ※R6診療報酬改定 医療の質指標	DPC	四半期、年間	期間中の入院患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落の発生割合です。	①データソースがDPC（様式1）の場合： 退院患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落の発生件数 ②データソースがDPC（様式3）の場合： インシデント影響度分類レベル3b 以上の転倒・転落の発生件数	①データソースがDPC（様式1）の場合： 退院患者の在院日数の総和 ②データソースがDPC（様式3）の場合： 入院患者延べ数	% (パーミル)

No.	指標名	データ ソース	集計単位	備考	指標定義		
					分子	分母	単位
61	入院 患者満足度調査 ※ 提出は任意	所定のフォーマット（エクセル）にご入力の上メールでご提出ください。 （フォーマットは後日、メールでお送りします）	2回／年	①回答率、②満足度（期間中の退院患者に対して病院の満足度を4段階評価で調査を実施）	①回答者数、②満足度（※） ※原則4段階評価の回答としましたが、5段階評価で調査を実施した施設については、「普通」を、4段階評価で実施した病院の「やや満足」「やや不満」の割合をそれぞれ算出し、それをもとに振り分けをおこないました。	①客体数、回答者数	％
62	入院 医師満足度調査 ※ 提出は任意			①回答率、②満足度（期間中の退院患者に対して病院 医師の満足度を4段階評価で調査を実施）	①回答者数、②満足度（※） ※原則4段階評価の回答としましたが、5段階評価で調査を実施した施設については、「普通」を、4段階評価で実施した病院の「やや満足」「やや不満」の割合をそれぞれ算出し、それをもとに振り分けをおこないました。	①客体数、回答者数	％
63	入院 病院推奨度調査 ※ 提出は任意			①回答率、②満足度（期間中の退院患者に対して病院の推奨度を4段階評価で調査を実施）	①回答者数、②満足度（※） ※原則4段階評価の回答としましたが、5段階評価で調査を実施した施設については、「普通」を、4段階評価で実施した病院の「やや満足」「やや不満」の割合をそれぞれ算出し、それをもとに振り分けをおこないました。	①客体数、回答者数	％
64	外来 患者満足度調査 ※ 提出は任意			①回答率、②満足度（期間中の外来患者に対して病院の満足度を4段階評価で調査を実施）	①回答者数、②満足度（※） ※原則4段階評価の回答としましたが、5段階評価で調査を実施した施設については、「普通」を、4段階評価で実施した病院の「やや満足」「やや不満」の割合をそれぞれ算出し、それをもとに振り分けをおこないました。	①客体数、回答者数	％
65	外来 医師満足度調査 ※ 提出は任意			①回答率、②満足度（期間中の外来患者に対して病院 医師の満足度を4段階評価で調査を実施）	①回答者数、②満足度（※） ※原則4段階評価の回答としましたが、5段階評価で調査を実施した施設については、「普通」を、4段階評価で実施した病院の「やや満足」「やや不満」の割合をそれぞれ算出し、それをもとに振り分けをおこないました。	①客体数、回答者数	％
66	インシデント・アクシデント（1か月、百床あたり） ※ 提出は任意		1回／年	期間中の許可病床100床あたりの月別インシデント・アクシデント発生の割合です。	調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数	許可病床数	％
67	インシデント・アクシデント（全報告中医師の占める割合） ※ 提出は任意			期間中の月別インシデント・アクシデント報告総件数に対する医師が提出したインシデント・アクシデント報告数の割合です	医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数	調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数	％
68	職員の予防接種（インフルエンザ） ※ 提出は任意			期間中に自施設にてインフルエンザワクチン接種の提供を開始した月の職員数に対する予防接種を受けた職員数の割合です。	インフルエンザワクチンを予防接種した職員数	職員数	％
69	ひと月あたり症例数（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	当月退院した症例数を集計しています。	当月退院した症例数（様式1より算出）		件
70	ひと月あたり延べ在院日数（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	当月退院した症例全ての在院日数を集計しています。	各症例の在院日数の合計値		日
71	平均在院日数（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	当月退院した症例の平均在院日数を集計しています。	延べ在院日数	症例数	日
72	ADLスコアの改善率（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	入棟時と比較し退棟時にADLが改善した症例の割合を集計しています。	改善症例数（or 維持症例数 or 悪化症例数） ※改善症例数：退院時ADLスコア合計値が入院時ADLスコア合計値よりも大きい症例数 維持症例数：退院時ADLスコア合計値と入院時ADLスコア合計値が等しい症例数 悪化症例数：退院時ADLスコア合計値が入院時ADLスコア合計値よりも小さい症例数	症例数	％
73	FIM得点の改善率（回復リハ）	DPC	年間	入棟時と比較し退棟時にFIM得点が改善した症例の割合を集計しています。	FIM得点別症例数（※） ※FIM得点別症例数 下記のFIM利得の点数で分類し、症例数を集計 ・FIM利得：30点以上 ・FIM利得：20点～29点 ・FIM利得：10点～19点 ・FIM利得：0点～9点 ・FIM利得：-1点以下	回復期リハビリテーション病棟症例数	％
74	医療区分の改善率（療養）	DPC	年間	入棟時と比較し退棟時に医療区分が改善した症例の割合を集計しています。	改善症例数（or 維持症例数 or 悪化症例数） ※改善症例数：入院時医療区分 > 退院時医療区分の症例数 維持症例数：入院時医療区分 = 退院時医療区分の症例数 悪化症例数：入院時医療区分 < 退院時医療区分の症例数	療養病棟症例数	％

No.	指標名	データ ソース	集計単位	備考	指標定義		
					分子	分母	単位
75	疾患別リハ単位数（回復リハ）（運動器、呼吸器、心大血管疾患、脳血管疾患、廃用症候群等）	DPC	年間	疾患別に、ひと月あたりのリハ単位数、および1症例あたりのリハ単位数を集計しています。 ①ひと月あたりのリハ単位数 ②1症例あたりのリハ単位数	①対象疾患(※)別の、ひと月あたりのリハ単位数の合計値 ②対象疾患の(※)リハ単位数の合計値 ※ 対象疾患 心大血管疾患、脳血管疾患等、廃用症候群、運動器、呼吸器（リハビリテーション料の算定により判定）	②対象疾患の症例数の合計値	単位数
76	紹介率（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	紹介による入院症例割合(直接各病棟に入院した症例に限る)を集計しています。	様式1の「入院経路：1または5」の症例数 ※様式1入院経路 1. 家庭からの入院 5. 介護施設・福祉施設に入所中	症例数	%
77	在宅復帰率（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	退院先が家庭への退院である症例割合を集計しています。	様式1の「退院先：1(or2or3)」の症例数 ※様式1退院先 1. 家庭への退院(当院に通院) 2. 家庭への退院(他の病院・診療所に通院) 3. 家庭への退院(その他)	症例数	%
78	医療区分別の症例構成割合（療養）	DPC	年間	療養病棟の在棟症例について、医療区分別に構成割合を集計しています。	医療区分1(or2or3)の在院日数の合計値	療養病棟症例数	%
79	薬剤管理指導料の算定率（療養）	DPC	年間	療養病棟の在棟症例について、薬剤管理指導料を算定している症例割合を集計しています。	薬剤管理指導料の算定症例数	療養病棟症例数	%
80	退院時薬剤情報管理指導料の算定率（療養）	DPC	年間	療養病棟の在棟症例について、退院時薬剤情報管理指導料を算定している症例割合を集計しています。	退院時薬剤情報管理指導料の算定症例数 ※様式1「退院先:8 終了（死亡等）」は除く	療養病棟症例数	%
81	目標設定等支援・管理料の算定率（回復リハ、療養）	DPC	年間	回復期リハビリテーション病棟、および療養病棟の在棟症例について、目標設定等支援・管理料を算定している症例割合を病棟別に集計しています。	目標設定等支援・管理料の算定症例数	回復期リハビリテーション病棟(or療養病棟)症例数	%
82	退院時リハビリテーション指導料の算定率（療養）	DPC	年間	療養病棟の在棟症例について、退院時リハビリテーション指導料を算定している症例割合を集計しています。	退院時リハビリテーション指導料の算定症例数 ※様式1「退院先:8 終了（死亡等）」は除く	療養病棟症例数	%
83	退院前訪問指導料の算定率（療養）	DPC	年間	療養病棟の在棟症例について、退院時リハビリテーション指導料を算定している症例割合を集計しています。	退院前訪問指導料の算定症例数 ※様式1「退院先:8 終了（死亡等）」は除く	様式1の退院先1(or2or3)の療養病棟症例数 ※様式1退院先 1:家庭への退院(当院に通院)、 2:家庭への退院(他の病院・診療所に通院)、 3:家庭への退院(その他)	%
84	要介護度（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	要介護度を分類し、症例数を病棟別に集計しています。	要介護度区分別症例数(※) ※要介護度区分別症例数 要支援：様式1「要支援1、要支援2」の症例数 要介護1-2：様式1「要介護1、2」の症例数 要介護3-5：様式1「要介護3～5」の症例数 その他：様式1「申請中、不明」の症例数	回復期リハビリテーション病棟(or療養病棟)症例数	%
85-1	要介護情報 胃瘻・腸瘻（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間	要介護情報の6項目について、入棟時と比較し退棟時に改善した症例の割合を集計しています。 ※要介護情報の下記6項目別に集計 ①胃瘻・腸瘻、②経鼻胃管、③摂食・嚥下機能障害、④中心静脈栄養、⑤低栄養、⑥末梢静脈栄養	改善症例数(or維持症例数or悪化症例数or不明症例数) ※改善症例数：開始日時点「1:有り」終了日時点「0:無し」 維持症例数：開始日、終了日時点の値に変更無し 悪化症例数：開始日時点「0:無し」→終了日時点「1:有り」 不明症例数：入力値なし等	症例数	%
85-2	要介護情報 経鼻胃管（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間				
85-3	要介護情報 摂食・嚥下機能障害（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間				
85-4	要介護情報 中心静脈栄養（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間				
85-5	要介護情報 低栄養（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間				
85-6	要介護情報 末梢静脈栄養（回復リハ、地域包括ケア、療養）	DPC	年間				